

2022 年度事業報告

特定非営利活動法人ふおーらいふ

総括

不登校状態にある児童・生徒が、法人の教育理念「自主」「自立」「生活と命」にもとづく体験学習活動などへ、主体的に参加した。新たにフリースクール低学年部（呼称「あかのみあ」）を開設し、低学年の利用者が増えた。また、子どもの福祉のための助成などをうけ、子ども・若者ケアラーや家庭に居づらい子ども・若者のための居場所、トワイライトスペースたるみの新設・運営を行い、教育や福祉関係の機関との連携を強化した。

また、行政や福祉関係の場で設けられる、教育・不登校に関する施策提言の場へ参画し、情報発信に努め、不登校に対する地域社会の理解を深めるよう努めた。その結果、長年「生活といのち」を理念に活動してきた不登校支援に対して、しみん基金・KOBÉより『黒田裕子賞』を拝受するに至った。

また外部からの講演依頼などを受け、職員が登壇したり、神戸市垂水区社会福祉協議会ならびに神戸市（垂水区まちづくり課）と協働し、当フリースクールならびに当法人が培った実践やノウハウなどを地域活動団体へ還元したりすることで、謝金や委託費を得て、事業収入の多様化を図った。

なお、コロナ禍に由来する物価高などによる、財政面への影響については、法人の内部留保を支出することで、フリースクールに在籍する子どもの家庭への負担増が最小限になるように努めた。よって2022年度の決算は、300万円ほどの赤字となった。

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

1. 自然体験・仕事体験の実施

青少年本部、神戸市青少年育成支援事業補助金による助成を受け、里山工房で自然体験活動を実施し、学校外で学び育つ一般参加の小中学生を含め、10月は14名、11月は13名の子どもが参加した。

ホームスクーラーや、他のフリースクールの方々との交流の場が実現し、学校に行きづらい子どもたちが、指導者のもとで、対話体験や木工作品作りを通して、道具の使い方、自然との共生の意味を知ることができた。



里山工房での自然体験

2. スポーツを通じた交流機会の主催

子どもたちの提案により、11月にフリースクール合同体育祭を主催及び開催した。4校のフリースクールが参加し、リレーや借り物競争、ドッジボールなど様々な競技を行った。

また、事前に子どもたちと話し合いを重ね、工夫を施した。中でも、チームを混合に組み分けたことで他のフリースクールの方々との仲間意識が芽生え、交流へのハードルが下がり、仲を深めることができた。



フリースクール合同体育祭

3. その他の活動について

11月半ばに大阪への卒業旅行を実施し、8名の子どもが参加した。卒業生の意見を積極的に取り入れながら、日時や当日の詳しいスケジュール、グループ行動の計画など、納得が行くまで子どもたちが主体となって話し合った。

また、コロナ禍でも安心して参加できるように、消毒や換気、感染対策などに十分配慮したうえで、実行した。



2月中旬に文化祭「仲間展」を実施し、在籍する子どもを含めて50名が参加・来場した。仲間展では、会場の相談や一般来場者の受け入れ方と催し物について子どもたちと話し合い、工夫した。

また、バンド希望者が集い、ひとつの目標に向かって練習を行った。当日はバンド演奏、缶バッチ作りの企画、フルーツ飴・ベビーカーカステラの提供やスーパーボウルすくいコーナーなどを設け、子どもたちがそれぞれの好きな事を活かし、実践発表できる文化祭になった。



(2) 学習およびコミュニケーションに関する支援事業

1. 放課後クラブについて

毎週土曜 10時30分に開催し、年間でのべ45日、発達障害などの学びづらさがある小学生の学習支援を実施し、各回平均で約4名の利用者の支援を行った。また、夏休みには専門の講師を招いて「夏休み宿題やつつけ隊」（作文、木工、自由研究）を3日間企画・開催し、1日平均3名が参加した。

3. 学習クラブ

地域の子どもを対象に、毎週火曜 16時30分から90分間、算数を主とした学習支援のプログラムを実施・開催した。年間でのべ46回実施し、1名が在籍利用した。なお、利用者が高校へ進学することに伴い、2月をもって事業を終了した。

(3) 生涯学習に関する機会と場の提供

1. フリースクール 20周年記念事業について

コロナ禍のため、出版社の編集段階のまま、今期も書籍刊行に至らず。なお、来期の7月には発刊できる見込み。

(4) 教育や不登校などの相談及び支援・情報の提供活動

1. 教育や不登校などの相談及び支援・情報提供活動について

当法人の多目的室(ルーム B)で、毎月第 3 土曜日に一般公開で不登校親の会を開催した。のべ 12 回、各回平均で約 9 名が参加した。また、隔年開催の「お母さんのための思春期講座」を本年度の6月～10月に開講。延べ29名が参加した。

団体機関紙ゆう通信の発行による情報提供は、年 4 回、1 回あたり約 250 通で、会員や関係機関へ発送した。

フリースクールの情報の発信と、不登校理解のために「入学説明会」と相談会を下記日程で行った。8月24日(参加者:3名)、12月23日(参加者:8名)、3月27日(参加者:4名)。

フリースクールの活動を中心に、当法人の取り組みを下記メディアで発信し、活動の透明性を高められるよう努めた。また、当スクールに在籍しない不登校の子どもやその保護者を含め、学校外で学び育つ子どもの実態や取り組みについても発信した。

(表2) メディアの発信頻度

発信メディア	発信頻度	月平均	フォロワー/登録人数
Twitter	1 回/日	約 64 回	1,192 人
ブログ(CANPAN)	1 回/日	約 19 回	-
Facebook	1 回/日	約 23 回	752 人
Instagram	1 回/日	約 23 回	259 人
YouTube	13 回/年	約 0.9 回	260 人

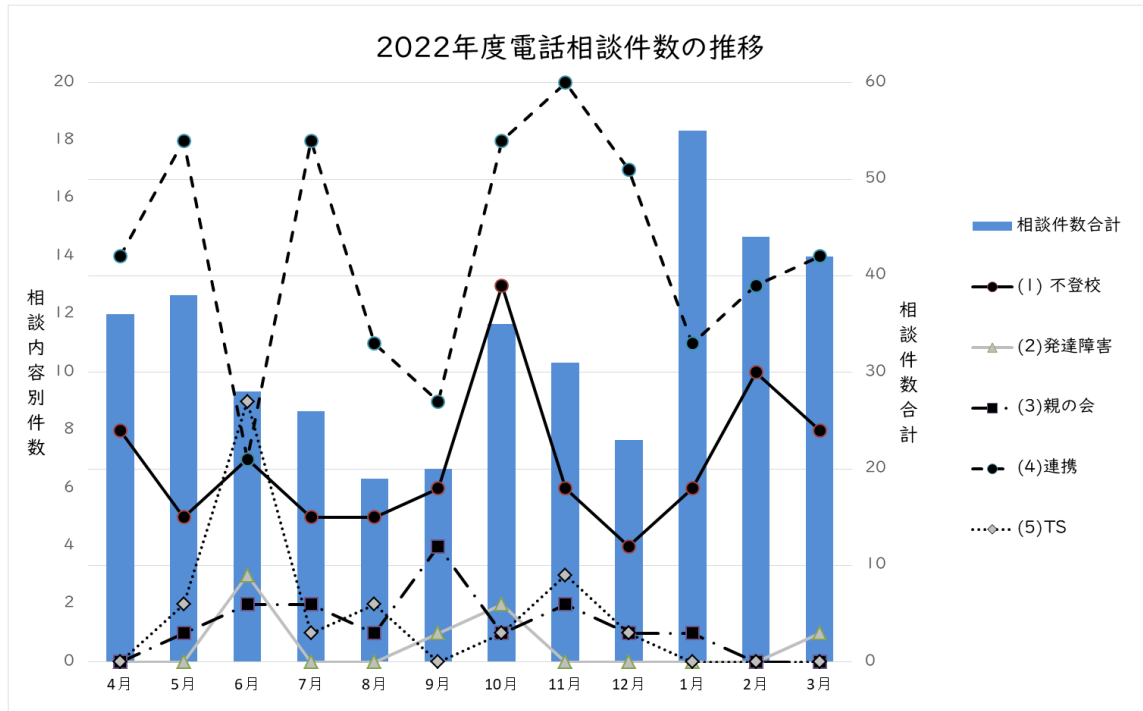
2. インターンの受け入れについて

神戸学院大学・総合リハビリテーション学部から、神戸市社会福祉協議会を通じて、実習生受け入れの依頼があり、当法人のフリースクールで、5 日間の教育・福祉実習の機会を提供した。

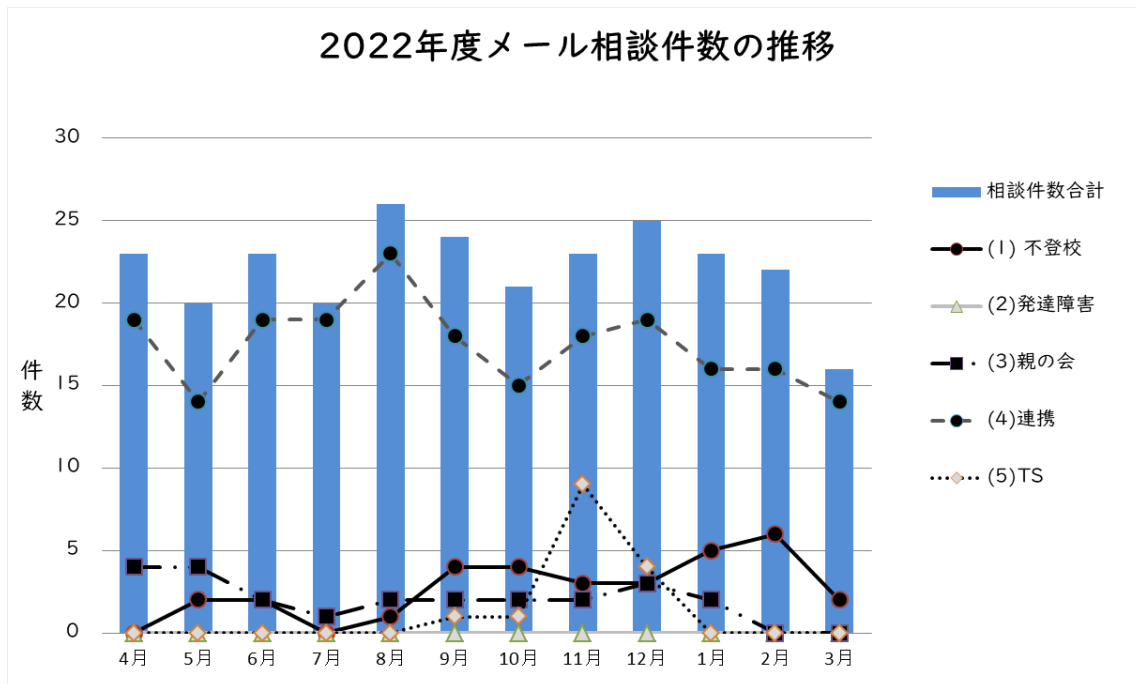
3. 日常的な相談支援について

平日に電話、メールによる相談を受けた。なお、年間の相談件数と内訳は、図 1・2 の通り。また、今年度の、問い合わせ・見学者・体験入学者・入学者数の、のべ人数と、フリースクール在籍者の月平均人数とその内訳、ならびに卒業者週ののべ人数は表 1 の通り。

(図1)



(図2)



(表1) 本年度の相談件数ならびに在籍者数などの状況

問合せ件数	見学者数	体験入学者数	入学者数	在籍者数	卒業者数
のべ94人	のべ43人	のべ14人	のべ13人	※平均10人	のべ9人

(※在籍者数の内訳:小学生0.5人、中学生9.5人、高校生0.0人)

(5) その他第3条の目的を達成するために必要な事業及び前号の事業に付帯する事業

1. 不登校・教育に関する施策への提言

フリースクール全国ネットワークなどが主催する会議体において、不登校支援団体との意見交換や各種提言、企画などに協力した。また「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法」（教育確保法）の成立に伴い引き続き「兵庫県フリースクール連絡協議会」に主体的に参画し、各教育委員会（神戸市／明石市／尼崎市など）との連絡会に参加し、不登校の子どものために、より良い環境設定の要望を示した。

登校拒否・不登校を考える全国ネットワークの夏の全国大会のサテライト会場を主宰、オンラインによる参加者を含め300余人の参加者を得た。

全国親の会調査や保護者に「緊急アンケート」を行い、リーフレットにまとめ、国や行政に不登校に関する情報提供と提言を行った。

1. 当法人の実績を活かし、行政や福祉分野などの多様なセクターと協働・提案する事業

当法人の取り組みを通じて得られた教育・福祉・子ども・青少年などの分野の活動実績を活かし、神戸市垂水区社会福祉協議会の協働コーディネート事業を受託、福祉分野の広報を支援する事業やネットワーク、情報処理のインフラ構築業務などに従事した。

神戸市垂水区役所まちづくり課協働コーディネート事業を受託。神戸市垂水区内で、地域活動に取り組む非営利団体などの相談を受け、垂水魅力アップ活動助成の申請を支援し、同助成受託団体の事業について、助言ならびに伴走支援を行った。

2. 当法人の実績を活かし、講演・講義などを行う事業

神戸市内の社会福祉協議会、立命館大学、地域活動団体から不登校や教育をテーマとした講演・講座の依頼を受け、当法人の職員が登壇した。また、神戸市内の公立中学校、明石清水高等学校からの依頼を受けて、持続可能な開発目標（SDGs）をテーマとしたワークショップを企画・開催した。

※2.3の委託や講演等で得られた委託費、講演料、謝金は、当法人のフリースクールの運営を安定させるための財源として活用した。

別紙 1

フリースクール ForLife 低学年部「あかてみあ」

【事業主旨・内容】

2021年度中に入学した小学生はわずか1名であり、フリースクール ForLife は小学生、特に低学年の潜在的な入学者を逃し続けている状況にあった。このことを踏まえ、今年度より新たにフリースクール ForLife 低学年部「あかてみあ」を開校。小学校低学年(1年生～4年生)対象のプログラムを、毎週木曜日 10:00～14:00 に実施している。

【2023年度事業単体の収支】

活動計算書の注記フリースクール低学年部あかてみあに記載の通り。

【現状と課題】

2022年3月当初に、利用者数(在籍者数)は6人を目標としていたが、同年年11月末時点で目標を達成した。3月末時点で8人が利用している(表①参照)。

利用者数は目標人数を越える一方、あかてみあを開設した2022年4月から6月までの間は、入学者がいなかったため、本年度の事業単体の収支はマイナスとなっている。

表①(あかてみあ在籍者数推移)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	のべ
開設日数	—	3日	5日	4日	3日	5日	4日	3日	4日	4日	3日	4日	42日
利用者数	—	0人 (0.0人)	0人 (0.0人)	11人 (2.8人)	8人 (2.6人)	16人 (3.2人)	17人 (4.3人)	18人 (6.0人)	26人 (6.5人)	26人 (6.5人)	19人 (6.3人)	32人 (8.0人)	167人
体験者数	—	3人	0人	0人	1人	3人	1人	0人	0人	0人	1人	1人	10人
常勤職員 配置人数	8人 (2.0人)	6人 (2.0人)	10人 (2.0人)	8人 (2.0人)	4人 (1.3人)	9人 (1.8人)	8人 (2.0人)	6人 (2.0人)	8人 (2.0人)	8人 (2.0人)	6人 (2.0人)	8人 (2.0人)	89人
ボランティア 参加人数	—	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	5人 (1.6人)	12人 (2.4人)	8人 (2人)	8人 (2.8人)	4人 (1人)	2人 (0.5人)	3人 (1人)	5人 (1.3人)	47人

下段、()内の人数は、開設日一日当たりの平均人数

表② フリースクール ForLife 低学年部「あかでみあ」 事業報告

実施内容		在籍者数
03 月末日 ~04 月上旬	在籍する保護者向け説明会(活動日の変更を説明) 「あかでみあ」専用ホームページ編集 ※入学金、活動日を変更	0 名
04 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	0 名
05 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報 「あかでみあ」見学・体験者向け相談会開催 運営会議(現状確認・見直し)	0 名
06 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	3 名
07 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	3 名
08 月	「あかでみあ」見学・体験者向け相談会開催 運営会議(現状確認・見直し)	3 名
09 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	4 名
10 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	6 名
11 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	7 名
12 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報 「あかでみあ」見学・体験者向け相談会開催 運営会議(現状確認・見直し)	7 名
01 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	7 名
02 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報	7 名
03 月	「あかでみあ」開校/見学・体験者受け入れ/広報 「あかでみあ」見学・体験者向け相談会開催 運営会議(現状確認・見直し)	8 名

■ 広報報告

Twitter/ブログ/Facebook (それぞれ実施 | 日あたり | 回)

その他 親の会月例会、各種講座及び講演会開催時に適宜チラシを配布

別紙 2

夜間の居場所「トワイライトスペースたるみ」

【事業内容・内容】

家庭的にしんどい背景を持つ、子ども・若者（11歳～20歳）を対象として毎週月・木曜日 16:00～20:00 にプログラムを実施した。また、居場所の運営・利用者対応に加え、メール・電話・LINE による相談と場合により行政機関との連携を行った。

【2023 年度事業単体の収支】

活動計算書の注記トワイライトスペースたるみに記載の通り。

【現状と課題】

想定していたよりも、関係機関からつながるケースが少なかった。また、相談を受ける時間に制約があり、現状は、トワイライトスペースたるみの開所時間内のみを受付している。

居場所の環境作り(机の配置等)や内容(一緒に食事をする等)を練る必要があり、加えて当事者に届くよう、広報の方法をもう少し練る必要があった。

表①(トワイライト利用者・連携数推移)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
トワイライトスペース 事業日数	6回	8回	11回	9回	9回	8回	7回	11回	8回	8回	8回	8回	101回
相談・利用者 人数	0人	0人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人	0人	0人	5人
連携件数	10件	1件	5件	1件	0件	1件	1件	0件	0件	4件	1件	1件	25件

表② トワイライトスペースたるみ 事業報告

実施内容		相談・利用者人数	連携件数
04月	すいせい・高木氏 挨拶と連携依頼 理事・羽下大信氏 挨拶とアドバイザー依頼 垂水区社協・左山氏／久須氏 挨拶と連携依頼 高橋秀典氏 挨拶と連携依頼 理事・高宮静男氏 挨拶とアドバイザー依頼 子ども未来課・西端氏／野里氏 挨拶と連携依頼 神戸市教育委員会・学校指導課 挨拶と連携依頼 垂水区役所保健福祉課・矢野氏 挨拶と連携依頼		10件
05月	居場所開設・相談／広報 FAITH CAFE・川端氏 挨拶とチラシ配架依頼 神戸新聞社・綱嶋氏 取材 リーフレット作成 公式LINE公開 HP作成	0名	1件
06月	居場所開設・相談／広報 神戸ヤングケアラー窓口・上田氏／霜川氏 視察 垂水区社協・左山氏／久須氏 視察 神戸市補助金申請	1名	5件
07月	居場所開設・相談／広報	1名	1件
08月	居場所開設・相談／広報 神戸市社協助成金申請	0名	0件
09月	居場所開設・相談／広報	0名	1件
10月	居場所開設・相談／広報 子ども家庭センター 挨拶と連携依頼	1名	1件
11月	居場所開設・相談／広報 講演会開催／事業現状確認	0名	0件
12月	居場所開設・相談／広報	0名	0件
01月	居場所開設・相談／広報 垂水警察署 挨拶と連携依頼 地域連携研修	2名	4件
02月	居場所開設・相談／広報 CS神戸個別相談／事業会議	0名	1件
03月	居場所開設・相談／広報 CS神戸個別相談／事業会議	0名	1件
	合計	5名	25件

■ 広報報告

Twitter(実施1日あたり1回)

神戸新聞社(1回)／朝日新聞(1回)

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
I 流動資産		
(1) 現金・預金		
現金	1,700	
振替口座(通知預金)	3,742,434	
普通預金 みなと銀行垂水支店	521,729	
普通預金 みなと銀行垂水支店(助成金)	5,052,366	
普通貯金 郵便局(一般)	986,052	
普通貯金 郵便局(助成金1)	15,604	
普通貯金 郵便局(助成金2)	0	
普通貯金 郵便局(放課後クラブ)	1,010,169	
普通貯金 郵便局(子ども貯金)	238,387	
普通預金 三井住友銀行垂水支店	0	
普通預金 近畿労働金庫神戸支店	0	
		11,568,441
(2) 未収金		
神戸市地域課題解決に取り組むNPO補助金	500,000	
神戸市垂水区まちづくり課協働事業委託費	760,310	
流動資産合計		12,828,751
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	1	
(2) その他固定資産		
敷 金	250,000	
固定資産合計		250,001
資 産 合 計		13,078,752
II 負債の部		
I 流動負債		
未払金	0	
預り金 社会保険、所得税分	△ 70,543	
流動負債合計		△ 70,543
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負 債 合 計		△ 70,543
正味財産合計		13,149,295

当法人の財産目録に相違ありません。

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

理事長 中林 和子

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
I 流動資産		
現金・預金	3,744,134	
郵便局	2,250,212	
みなと銀行	521,729	
助成金口座	5,052,366	
三井住友	0	
近畿労働金庫	0	
未収金	1,260,310	
流動資産合計		12,828,751
2 固定資産		
工具器具備品	1	
敷金	250,000	
固定資産合計		250,001
資産合計		13,078,752
II 負債の部		
I 流動負債		
未払金	0	
預り金 社会保険、所得税分	△ 70,543	
流動負債合計		△ 70,543
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		△ 70,543
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		16,128,489
当期正味財産増加額		△ 2,979,194
正味財産合計		13,149,295
負債及び正味財産合計		13,078,752

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書
 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
NPO会員 年会費5,000	110,000		
支援会員 年会費3,000	115,000	225,000	
2.受取寄付金			
一般	492,031		
20周年事業	26,500		
書籍出版	0		
クラウドファンディング(パブリックリソース財団)	0	518,531	
3.受取助成金等			
神戸市青少年育成事業	0		
神戸市垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	715,000		
神戸市協働事業	760,310		
神戸市地域課題に取り組むNPO等補助金事業	500,000		
赤い羽根共同募金(親の会)	0		
大阪コミュニティ財団	100,000		
子どもの福祉のための助成	500,000	2,575,310	
4.受取補助金等			
善意銀行	50,000	50,000	
5.事業収益			
フリースクール事業	5,388,800		
フリースクール低学年部あかでみあ事業	605,900		
トワイライトスペースたるみ事業	0		
学習・コミュニケーション事業	208,992		
講座事業	466,447		
親の会・通信事業	47,700		
連携事業	0	6,717,839	
6.その他収益			
雑収入	0		
受取利息	69	69	
経常収益計			10,086,749
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
給料手当	5,483,140		
法定福利費	750,973		
通勤交通費	469,260		
人件費計	6,703,373		
(2)その他経費			
謝金	539,000		
子ども活動費	555,196		
子ども活動交通費	70,730		
消耗品費	68,164		
消耗備品費	191,400		
交通費	144,412		
通信費	177,360		
印刷費	18,501		
会議費	470		
賃借料	30,300		
新聞図書費	45,610		
水道光熱費	167,734		
交際費	6,475		
地代家賃	1,020,000		
保険料	84,950		
研修費	66,000		
雑費	5,261		
支払手数料	31,854		
租税公課	0		
修繕費	0		
諸会費	42,200		
広告宣伝費	2,000		
車両費	175,517		
リース料	0		
減価償却費	0		
その他経費計	3,443,134		
事業費計		10,146,507	

2.管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,955,040		
法定福利費	330,388		
通勤交通費	136,640		
人件費計	2,422,068		
(2)その他経費			
謝金	0		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	3,694		
消耗備品費	2,084		
交通費	21,056		
通信費	24,808		
印刷費	0		
会議費	0		
賃借料	1,600		
新聞図書費	0		
水道光熱費	41,934		
交際費	1,080		
地代家賃	240,000		
保険料	120,000		
研修費	30,000		
雑費	307		
支払手数料	5,605		
租税公課	200		
修繕費	0		
諸会費	0		
広告宣伝費	0		
車両費	5,000		
リース料	0		
減価償却費	0		
その他経費計	497,368		
管理費計		2,919,436	
経常費用計			13,065,943
当期経常増減額			△ 2,979,194
Ⅲ経常外収益			
1.過年度損益修正益	0		
経常外収益計			0
Ⅳ経常外費用			
1.過年度損益修正損	0		
2.雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増減額			△ 2,979,194
当期正味財産増減額			△ 2,979,194
前期繰越正味財産額			16,128,489
次期繰越正味財産額			13,149,295

2023 年 5月 25日

監査報告書

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林和子殿

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

監事 近藤 寿夫 

私は、特定非営利活動促進法第 18 条にもとづき、2022年度(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)の、特定非営利活動法人ふおーらいふの会務および財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては、法令および定款に違反する事実はなく、2022 年度の特定非営利活動法人ふおーらいふの財産目録および貸借対照表および活動計算書は適正なものと認めます。

2023 年度事業計画

■ 事業の方針

「子どもの権利条約」、および「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」にもとづき、当法人の定款第 5 条に定める 5 つの事業を実施することで、直接または間接的に、不登校状態にある児童・生徒の自主性を育み、社会的自立を支援する。また、発達障害の子ども支援を行う。また、下記の新規・拡充事業にも取り組む。

注力する新規または拡充事業は、次の通り。

(1) **拡充** フリースクール設立 20 周年記念事業として出版する書籍披露のイベントを開催する。

下記の事業は、縮小・休止・廃止する

(1) **廃止** 毎週火曜日、フリースクール閉校後から行われていた『学習クラブ』事業は廃止する。

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

不登校状態の小・中・高校生(20 歳以下の子どもを含む)に対し、以下の形で体験型学習の機会を提供し、利用者の自己肯定感を高めるための支援を行う。

- ・小・中学生に対し、週 2 日、教科プリント学習、読書、WEBツール等を使用して基礎学習の支援を行うとともに、個に応じた学びのサポートをする。
- ・高校生に対し、週 2 日、利用者の所属する通信制高校(兵庫県立青雲高校ほか)のレポート学習支援を行うとともに、個に応じた進路のサポートをする。
- ・地域の体育館をはじめとする公共施設や、郊外の自然環境が豊かなフィールドを活用し、子どもたちが身体および五感を使うことのできる体験活動を提供する。また、総合学習等(運動・音楽・芸術・調理ほか)の活動を月単位で企画・実施する。その他、地域住民や団体等と協働し、利用者が地域で職業体験や社会貢献活動などができる機会を設ける。
- ・スクールの年中行事として、野外活動、旅行、文化祭を行う。内容は子どもたちが主体となり企画・実施できるよう必要なサポートを行う。また、関西圏の各種民間スクールとの合同企画も行う。

小学校低学年向けフリースクール『あかでみあ』を開校し、「学び」「遊び」「コミュニケーション」を軸とした学習の機会および居場所を提供する

- ・昨年度に引き続き、小学校 1~4 年生の子どもを対象とした『あかでみあ』を毎週木曜日に開所し、「学び」「遊び」「コミュニケーション」活動を軸にプログラムを実施する。フリースクール ForLife と同様、子どもたちが自由に自己表現できる居場所づくりを行う。
- ・「学び」では、子どもたちの興味関心に沿った調べ学習や、基礎学習(読み、書き、計算)プログラムを実施し、「遊び」では、公園や体育館など地域資源を利用した運動や、スクール内での遊びプログラム(昔遊びやアート等)を実施する。
- ・「コミュニケーション」では、生活体験や対話を通して他者の気持ちを考える機会や、ボードゲームなどを用いて、他者と交渉する、順番を守る、といった社会性や道徳性を学ぶ機会を提供する。

※本事業の趣旨、予算等詳細は別紙 1-2、2-2 の通り

新型コロナウイルス感染症をはじめ、不測の事態により、当フリースクールが長期休校を余儀なくされた場合は、フリースクール在籍者に向け、オンラインツールを活用し支援できるよう備える。

- ・ 不測の事態により、フリースクールが休校を余儀なくされた場合、オンラインツールの GoogleMeet を利用し、週に 2 日、オンラインスクールを開き、学習コンテンツの発信や、子どもたち同士、子どもたちとスタッフがコミュニケーション出来る機会を設ける。
- ・ 希望する子どもには、定期的に個別 GoogleMeet もしくは、音声通話などによりサポートする。
- ・ 休校期間中、ブログや SNS を利用し、学習コンテンツを発信し、ワークキット等、自宅で取り組める学習コンテンツを子どもたちに郵送するなど、学習の機会を確保する。

(2) 青少年等への学習およびコミュニケーション支援

小学生(発達障害の子どもを含む)の支援として以下の取り組みを行う。その際、発達障害の子どもの学習支援については垂水区社会福祉協議会との協働で事業を実施する。

- ・ 原則毎週土曜日の午前、『放課後クラブ/くればす』を利用する子どもが学校の課題や自主的に設定した基礎学習を学ぶことができる学習スペースを継続して開設する。
- ・ 月に 1 度「カレーの日」を設け、子どもたちに料理プログラムを提供する。

(3) 青少年およびその周辺の人々に対する生涯学習の機会と場の提供

不登校や発達障害をはじめ、青少年教育の諸問題について、以下の取り組みを行う。

- ・ 関西の民間スクールが、合同で実施する勉強会やワーキンググループ等に参画し、職員が教育に関する諸問題を学ぶ場を年に数回設ける。

(4) 教育や不登校、子育ての悩みなどについての相談および支援・情報提供活動

不登校等教育に関する相談および支援を行うため、以下の取り組みを行う。

- ・ 平日に、電話とメールによる相談支援を行う。また希望者には、対面での相談支援や情報提供を行う。
- ・ フリースクール全国ネットワーク、ふりー!すくーりんぐ、兵庫教育大学ボランティア支援室等と連携し、団体情報を発信し、不登校や教育に関する情報交換に取り組む。
- ・ 年 3 回を目安に、不登校や発達障害に関する講演会もしくは研修会を自主企画、もしくは外部からの依頼をうけ職員が登壇する。
- ・ 大学生を対象としたインターンシッププログラムの受け入れ体制を用意する。また、近隣大学などの依頼があれば、内容を検討し、可能な限り随時受け入れを行う。
- ・ 年 4 回、1 回あたり 2~300 部、団体機関紙『ゆう通信』を印刷・発行し、NPO 会員、支援会員、その他関係各所へ送付し、情報提供を行う。また電子版を WEB に公開する
- ・ 運営する WEB サイト、団体公式サイト、ブログ、Twitter、YouTube、Instagram、Facebook で情報発信を行う。各リンクは、検索操作不要な、下記の公式アプリで集約し、子ども・保護者の情報アクセス・利便性の向上をはかる。

【フリースクール ForLife 公式アプリ】

URL: <https://npoforlife.glideapp.io/>

右の QR コードでも表示できる



夕方から夜間にかけて、家庭に居場所がない子ども・若者の居場所『トワイライトスペースたるみ』を開所する。また、困難事例へのケースワークおよび相談事業を実施する。

- ・昨年度に引き続き、家庭で居場所がなく、自分ではどうにもならない生きづらさを抱える子ども・若者が安心して過ごすことができる居場所の提供および相談業務を行う。
- ・家庭で居場所がない子ども・若者(11~20歳)を支援対象とする。
- ・毎週月曜・木曜日の16:30~20:00に居場所としてフリースペースを開所する。
- ・相談は、対面の他、電話、メールとSNSアプリ『LINE』を使用し受け付ける。
- ・居場所利用者および相談者に、虐待やヤングケアラーなどの背景が見られる場合、適切な関係機関に繋ぐといったケースワークを行う。
- ・将来的な展望として、行政からの委託事業として実施できるよう、各所に働きかける。また、この事業をモデル化し、広く普及させることで、生きづらい環境下にいる子ども・若者たちがすぐに近くの居場所にSOSを求められる仕組みを作る。

※本事業の趣旨、予算等詳細は別紙2-1、2-2の通り

(5) その他の事業

法人の定款第3条の達成に必要な事業および(1)~(4)に附帯する事業として以下の事に取り組む。

1. 不登校・教育に関する施策提言にかかわる事業

- ・教育委員会や自治体との連絡会議などへ積極的に参加する。
- ・フリースクールの子どもたちが所属する、小学校・中学校の出席認定と、通学定期券の発行が認められるよう、関係団体と連携し、教育委員会や学校、行政などの窓口へ働きかける。
- ・フリースクール全国ネットワークの企画や情報交換の場に参画し、日本全国の不登校を取り巻く環境改善に取り組むほか、登校拒否・不登校を考える全国ネットワークとの連携により全国的な親の会の情報や課題等を共有する。
- ・**拡充**フリースクール設立20周年記念事業として出版する書籍披露のイベントを開催する。

2. 当法人の実績を生かし、行政や福祉分野などの多様なセクターと協働する事業

- ・兵庫県立青雲高等学校評議員に参加し、通信制課程で学ぶ高校生の支援を行う。
- ・大学や各種団体から講師・講演依頼があった場合は、職員を派遣し、法人が蓄積したノウハウを地域社会へ還元し、間接的に学校外で学び育つ子どもに対する地域社会の理解を促進する。
- ・神戸市垂水区社会福祉協議会の委託を受け、福祉分野の広報支援やネットワーク構築の支援を行うため、毎週水曜日に、職員1名を神戸市垂水区社会福祉協議会へ出向させる。
- ・神戸市垂水区の垂水魅力アップ活動助成のコーディネーター業務の委託を受け、同助成事業の制度の見直しと、制度の周知・広報、採択団体の伴走支援を行うため、毎週月曜日に、職員1名を神戸市垂水区役所内の地域協働課へ出向させる。

3. 当法人の実績を活かし、講演・講義などを行う事業

- ・2030SDGsを活用し、持続可能な開発目標を学び体験する講座を実施する。
- ・2を含むこれらの委託や講演・講師依頼で得た委託料や謝金等は、フリースクールを中心に、法人全体の各種事業の運営を安定させるため活用する。

3.その他関連事業等

- ・フリースクールに所属する子どもたちの活動を充実させつつ、スクールに所属しない不登校などの子どもたちも取り残さないよう、誰もが一般参加可能なプログラムを企画するため、常勤職員 1 人当たり 1 事業を目標に、民間企業等が公募する助成金事業に申請、財源を確保するよう努める。
- ・職員やボランティアの資質向上のため内閣府・専門機関等が主催する研修会に参加する。

別紙 1-1

フリースクール低学年部「あかでみあ」

【事業主旨・内容】

毎週木曜日 10:00～14:00 に、フリースクール低学年部「あかでみあ」を開校し、小学校低学年（1～4年生）を対象に「学び」「遊び」「コミュニケーション」プログラムを、実施する。

【一日の流れ】

10:00	開校・朝の会
11:00	「学び」の時間
12:00	昼食
13:00	「遊び」「コミュニケーション」の時間
14:00	閉校

【成果目標】

・10人の利用者を想定

【収入】

項目	金額	計算式
入学金	20,000	@10,000×2人=20,000
支援会員費	30,000	@3,000×10人=30,000
学費(在籍者)	960,000	@10,000×12か月×8人=960,000
学費(新規入学者)	168,000	@12,000×7か月×2人=168,000
合計	1,178,000	

※23年4月時点の在籍者8人に加え、9月から2人新たに入学することを見込んだ収入。

※入学金は、フリースクール ForLife と同額の10,000円として計算。

【支出】

項目	金額	計算式
人件費	825,000	※22年度人件費より概算
通勤旅費	74,400	@4,600×12か月=55,200 @1,600×12か月=19,200
交通費	15,840	@440×36日×1人=15,840
活動費	2,200	※22年度活動費より概算
通信費	1,800	※22年度通信費より概算
印刷費	2,800	※22年度印刷費より概算
光熱費	44,000	※22年度光熱費より概算
保険料	5,000	
手数料	2,000	
地代家賃	168,000	@3,500(家賃日割り)×48日=168,000
合計	1,134,040	

フリースクール ForLife 低学年部「あかでみあ」年間計画

1. 年間計画

今後の予定	
06月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定)
07月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定) 運営会議(現状確認・見直し)
08月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定)
09月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定) 運営会議(現状確認・見直し)
10月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定)
11月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定) 運営会議(現状確認・見直し)
12月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定)
01月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定) 運営会議(現状確認・見直し)
02月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定)
03月	「あかでみあ」開校／見学・体験者受け入れ／広報 「あかでみあ」見学・体験・入学者向け相談会開催(予定) 運営会議(現状確認・見直し)

※当事業の活動日は、祝日と長期休校(春・夏・冬休み)を除く木曜日(35日間)実施。

※上記活動日と別に、里山体験活動や兵庫教育大学子どもフェスタなど、参加可能なプログラムが9回ある。

広報計画

Twitter／ブログ／Facebook (それぞれ実施1日あたり1回)

新聞社 (年1回)

その他 親の会月例会、各種講座および講演会開催時に適宜チラシを配布

別紙 2-1

夜間の居場所「トワイライトスペースたるみ」

【事業主旨・内容】

家庭的に、しんどい背景を持つ子ども・若者（11 歳～20 歳）を対象としたプログラムを、毎週月・木曜日 16:00～20:00 に実施する。

居場所の運営・利用者対応に加え、メール・電話・LINE による相談と行政機関との連携を行う。

【一日の流れ】

16:00	居場所準備
16:30	開所
20:00	閉所

【成果目標】

- ・居場所は、1 日平均 2～5 名の利用者を想定。
- ・相談者を支援機関につなぐ件数は、
1 日平均 1 名の利用者を想定。

【収入】

（単位：円）

費目	金額	備考
神戸市 NPO 補助金	300,000	申請済み
ひょうごボランティア助成	500,000	申請済み
クラウドファンディング等で調達	135,380	
合計	935,380	

※行政からの委託や、他の助成制度への申請を随時行う。

【支出】

（単位：円）

費目	金額	備考
人件費	504,000	@1250(時給)×4h×2 日×4 週×12 か月×1 人=480,000 @1000(日給)×2 日×12 か月×1 人=24,000
家賃	336,000	@3,500(家賃日割り)×96 日=336,000
交通費	6,200	@620×5 日×2 人=6,200
交際費	6,000	@2000×3 か所=6,000
物品購入費	14,624	コピー用紙(A4 1500 枚)@1016 インク(キャノンカラー3色)@2069 インク(ブラック)@1859
その他	68,556	@500(水道光熱費)×2 日×4 週×12 か月=48,000 @1463(電話代)×12 か月=17,556
合計	935,380	

※当事業は週に 2 回月曜・木曜、年間で 96 日間実施。

※進捗状況・年間計画は別紙(第 2 号議案—別紙 2-2)

別紙 2-2

夜の居場所「トワイライトスペースたるみ」年間計画

1.年間計画

03月	居場所開設・相談／広報 ボランティア／アルバイト募集・事業内容の検討
04月	居場所開設・相談／広報
05月	居場所開設・相談／広報
06月	居場所開設・相談／運営会議（現状確認・見直し）
07月	居場所開設・相談／広報
08月	居場所開設・相談／広報
09月	居場所開設・相談／運営会議（現状確認・見直し）
10月	居場所開設・相談／広報
11月	居場所開設・相談／広報
12月	居場所開設・相談／運営会議（現状確認・見直し）
01月	居場所開設・相談／広報
02月	居場所開設・相談／広報
03月	運営会議（今年度まとめ振り返り・見直し）

2.広報計画

チラシ・パンフ 各 100 枚印刷、連携機関を中心に、20 箇所に配架

フライヤー 200 枚印刷、連携機関や公的な施設に配架

Twitter（それぞれ実施 1 日あたり 1 回）

広報 KOBE・社協 HP への掲載依頼を行う。

2023年度 活動予算

科目・摘要		金額	
I 経常収益			
1 会費収入			
NPO会員 年会費	5000円	100,000	
支援会員年会費	3000円	150,000	250,000
2 受取寄付金			
一般		200,000	
20周年事業		100,000	
書籍出版		100,000	
パブリックリソース財団		50,000	
年間サポーター		30,000	480,000
3 受取助成金等			
神戸市青少年育成補助事業		200,000	
兵庫県青少年本部事業		100,000	
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業		690,000	
神戸市垂水区協働コーディネート事業		770,000	
ひょうごボランティアプラザ事業		500,000	
神戸市地域課題を解決するNPO補助事業		300,000	
		0	
		0	2,560,000
4 受取補助金			
善意銀行		50,000	50,000
5 事業収入			
フリースクール事業		6,480,000	
フリースクール低学年部あかのみあ事業		1,430,000	
トワイライトスペースたるみ事業		0	
学習コミュニケーション事業		100,000	
講座事業		400,000	
親の会・通信事業		60,000	
連携事業		0	8,470,000
6 その他の収入			
受取利息		100	
雑収入		0	100
経常収益計			11,810,100
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給与手当		3,720,000	
法定福利費		620,000	
通勤交通費		480,000	
人件費計		4,820,000	
(2) その他経費			
謝金		500,000	
子ども活動費		500,000	
子ども活動交通費		80,000	
消耗品費		70,000	
消耗備品費		50,000	
交通費		150,000	
通信費		180,000	
印刷費		320,000	
会議費		20,000	
賃借料		50,000	
新聞図書費		50,000	
水道光熱費		180,000	
交際費		10,000	
地代家賃		1,020,000	
保険料		100,000	
研修費		100,000	
雑費		10,000	
支払手数料		40,000	
租税公課		0	
修繕費		0	
諸会費		50,000	
広告宣伝費		30,000	
車両費		180,000	
リース料		0	
減価償却費		0	
その他経費計		3,690,000	
事業費計			8,510,000

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,000,000		
法定福利費	360,000		
通勤交通費	150,000		
人件費計	2,510,000		
(2) その他経費			
謝金	50,000		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	5,000		
消耗備品費	10,000		
交通費	50,000		
通信費	25,000		
印刷費	10,000		
会議費	20,000		
賃借料	50,000		
新聞図書費	10,000		
水道光熱費	18,000		
交際費	5,000		
地代家賃	240,000		
保険料	120,000		
研修費	100,000		
雑費	5,000		
支払手数料	15,000		
租税公課	10,000		
修繕費	0		
諸会費	30,000		
広告宣伝費	0		
車両費	10,000		
リース料	0		
減価償却費	0		
その他経費計	783,000		
管理費計		3,293,000	
経常費用計			11,803,000
当期経常増減額			7,100
Ⅲ 経常外収益			
1 過年度損益修正益	0		
経常外収益計		0	0
Ⅳ 経常外費用			
1 過年度損益修正損	0		
2 雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増加額			7,100
当期正味財産増加額			7,100
前期繰越正味財産額			13,149,295
次期繰越正味財産額			13,156,395

役員改選について

2023年6月22日をもって役員が任期満了となるため、以後の役員体制は以下の通り。
なお役員任期は定款の定めにより2023年6月22日～2025年6月21日の2年間とする。

理事候補者

甲	斐	真	弓
河	合	将	生
近	藤	妙	子
高	宮	静	男
田	中	ま	ち子
中	林	和	子
羽	下	大	信
矢	野	良	晃

監事候補者

近	藤	壽	夫
---	---	---	---

トータルアドバイザー候補者

當	間	克	維
---	---	---	---

2023年(令和5年) 6月 4日

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

〒655-0022 兵庫県神戸市垂水区瑞穂通7-2

電話 078-706-6186 (FAX共通)

メール forlife@hi-net.zaq.ne.jp

WEB <http://fsforlife.sakura.ne.jp>

ブログ <http://blog.canpan.info/forlife>

Twitter <https://twitter.com/npoforlife>

Facebook <https://www.facebook.com/npoforlife>

Instagram <https://www.instagram.com/npoforlife>

YouTube <https://www.youtube.com/user/FreeSchoolForLife>

【公式アプリアクセス QR】

